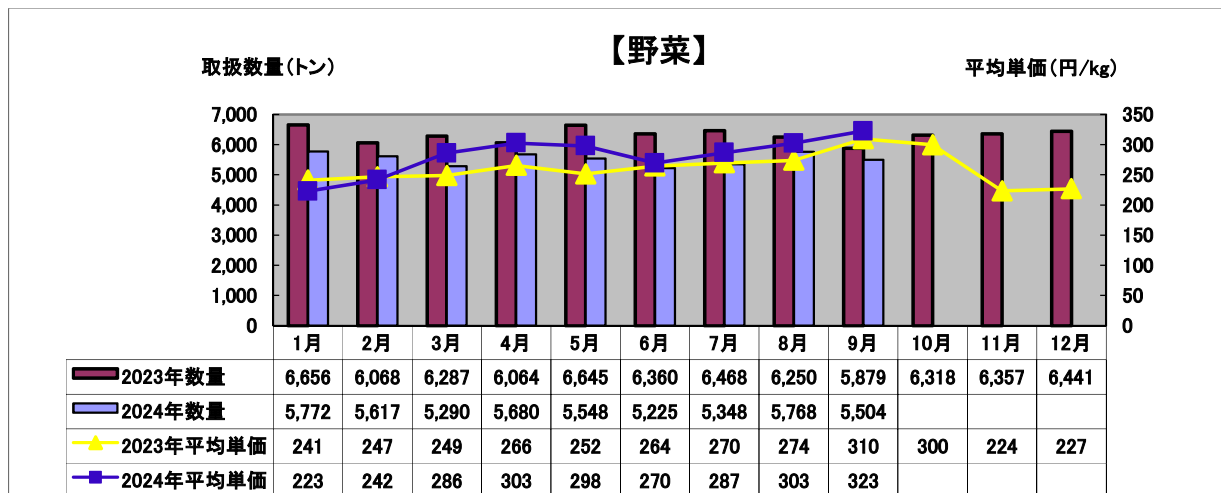
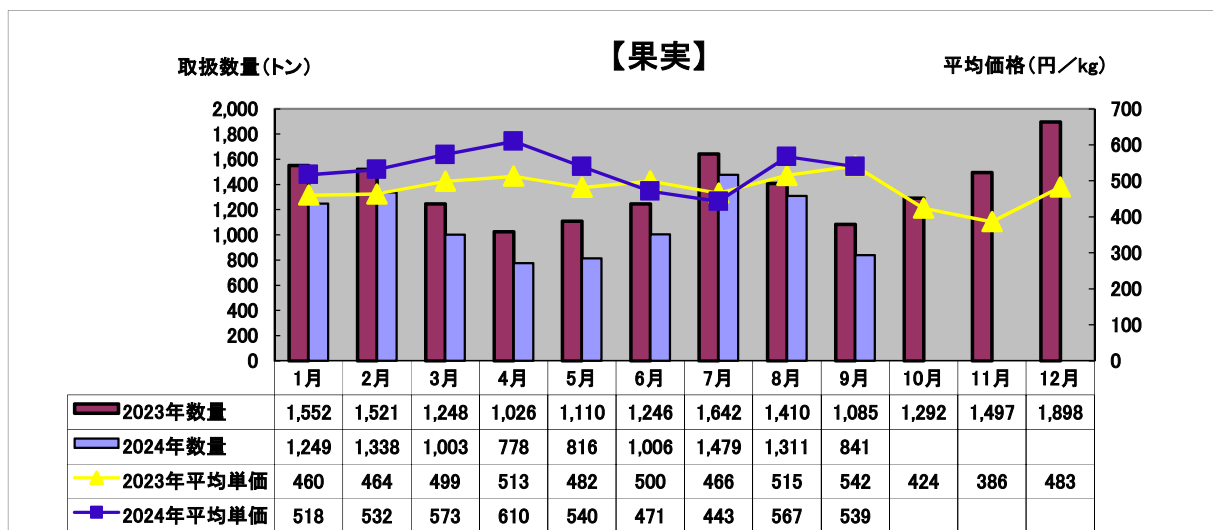


令和6年(2024年)9月 青果部種類別市況



9月の野菜類は、東北や北海道の夏秋産地での切り上りが早く、高温の影響により傷みも発生し数量はやや減少。前年に比べ平均単価はやや高く推移しました。

前年比数量 94%、単価 104%で終了しました。



9月の果実類は、主力をなすぶどう類、りんご類、なし類等が軒並み前年を下回る作柄となり数量はかなり減少しました。単価については平年並みに推移しました。

前年比数量 78%、単価 99%で終了しました。